

# 第30回

## 全日本大学男子選手権

●平成7年8月11日(金)〜13日(日)  
●福井県福井市/福井市開発グラウンド他  
日ソ協記録委員 小池 京子



### 新星 沖縄国際大、2連覇! 京産大にサヨナラ

標記大会は、連日の猛暑が続く福井市開発グラウンド他3会場で32チームが熱戦を繰り広げた。  
試合は9時に4会場で同時にスタートした。

初戦、国際武道大対九州産業大は、国際の守座が史上4人目のノーヒットノーランを達成。国士館大は愛知学院大戦で自チームが持つ大会タイ記録に並ぶ5ホームランを放って圧勝するなど、熱戦が繰り広げられた。

2日目は2回戦、準々決勝が行われ、順当な4チームが残った。第3試合はあいにく雨になり、2球場が続行不能となったため、球場を移動するハプニングがあった。

3日目は、準決勝が行われ、日体大対沖縄国際大は、沖縄が初回、先頭・高良の本塁打で先制。これを儀保が5回まで内野安打1、毎回奪三振の好投で日体大打線を抑えたが、6回、安打と2失策で同点に追いつかれた。しかし、昨年の覇者・沖縄は7回、先頭・川端が安打で出塁、知花の左越三塁打でサヨナラ勝ちし、連覇へ夢をつないだ。

一方、初戦でノーヒットノーランを達成した守座を擁する国際武道大と、速球ナンバー1の誉れ高い馬場を擁する京都産業大の対戦は、京産・馬場が内野安打1本に抑える完璧なピッチング、また、自らも本塁打を放つなど、投打にわたる活躍で快勝した。

決勝は昨年と同じ顔合わせになった。京産は初回、内野安打、四死球、暴投であっさり先取点を挙げ、3回には由良の本塁打で1点を追加した。守っても、エース・馬場が5回までパーフェクトに抑える好投をみせ、勝負あつたかにみえた。しかし、沖縄は6回、宮城が内野安打で出塁、京都の内野陣の3失策により幸運な2点を拾い、同点に追いついた。



▶サヨナラヒットを放った宇栄原

### 第30回全日本大学男子選手権大会

1	沖縄国際大学(沖縄)	6x	12	
2	明治大学(東京)	0	12x	
3	松山大学(愛媛)	2	1	
4	愛知大学(愛知)	9x	1	
5	関西大学(大阪)	3	0	
6	筑波大学(茨城)	1	1	
7	愛知学院大学(愛知)	1	6x	
8	国土館大学(東京)	10	6x	
9	神戸学院大学(兵庫)	2x	1	
10	中京大学(愛知)	①	1	
11	広島工業大学(広島)	0	3	
12	日本体育大学(東京)	13	3	
13	熊本学園大学(熊本)	0	7x	
14	関東学園大学(群馬)	3	4	
15	香川大学(香川)	5x	1	
16	福井県立大学(福井)	1	1	
17	福岡大学(福岡)	3x	2	
18	仙台大学(宮城)	1	0	
19	同志社大学(京都)	10x	9	
20	学習院大学(東京)	0	0	
21	龍谷大学(京都)	14x	4	
22	信州大学(長野)	3	1x	
23	九州産業大学(福岡)	0	6	
24	国際武道大学(千葉)	10	6	
25	立命館大学(京都)	13x	3	
26	福島大学(福島)	0	3	
27	大阪経済法科大学(大阪)	2	8x	
28	東海大学(神奈川)	6	3x	
29	第一経済大学(福岡)	2	3	
30	早稲田大学(東京)	5	10	
31	広島経済大学(広島)	0	5	
32	京都産業大学(京都)	3	5	



2連覇達成！喜びに沸く沖縄国際大



成績を発表する吉田日ソ協審判委員

京産・馬場は、2・3回に6連続三振を奪い、10奪三振の好投をみせながら涙を飲んだ  
優勝の立役者となった儀保は2安打10奪三振と好投、まさに優勝の原動力となった。また、昨年インターハイで活躍した選手が良い働きをしたのも見逃せない。

京都産業大	1	0	1	0	0	0	0	0
沖縄国際大	0	0	0	0	0	2	1x	2
(京) ●馬場—由良								
(沖) ○儀保—宇栄原								
▽困由良(京)								
(審) P 鈴木 1 高木 2 黒川 3 左近								
(記) 上嶋								
○準決勝戦(8時59分〜10時50分)								
日 体 大	0	0	0	0	0	1	0	
沖縄国際大	1	0	0	0	0	1x	2x	1
(日) ●関根—鈴木								

京都産業大	1	0	1	0	0	0	0	0
沖縄国際大	0	0	0	0	0	2	1x	2
(京) ●馬場—由良								
(沖) ○儀保—宇栄原								
▽困由良(京)								
(審) P 鈴木 1 高木 2 黒川 3 左近								
(記) 上嶋								
○決勝戦(11時36分〜13時11分)								
日 体 大	0	0	0	0	0	1	0	
沖縄国際大	1	0	0	0	0	1x	2x	1
(日) ●関根—鈴木								

### みんなで流した汗

大会は、「一人三役、みんな協力して汗を流そう！」をモットーに、関係者一丸となって取り組んだ。会場は、交通の利便さを考えて、市の中心にもつてきたため4会場に分かれてしまい、チームの皆さんには移動等に迷惑をかけてしまったことと思う。当協会でもソフト専用球場の建設実現に向けて全力で取り組んでいるのが現状である。球場設営にあたっては、前日より審判員が総出で夜までかかってフェ

国際武道大	0	0	0	0	0	0	0	0
京都産業大	0	1	0	2	0	0	X	0
(国) ●宇座—笠原								
(京) ○馬場—由良								
▽困中村、由良、馬場(京)								
(審) P 塩野 1 山田 2 柴木 3 杉本								
(記) 白藤								
○準決勝戦(8時59分〜10時15分)								
日 体 大	0	0	0	0	0	0	0	
国際武道大	0	0	0	0	0	0	0	
京都産業大	0	1	0	2	0	0	X	0
(国) ●宇座—笠原								
(京) ○馬場—由良								
▽困中村、由良、馬場(京)								
(審) P 塩野 1 山田 2 柴木 3 杉本								
(記) 白藤								

福井県広報委員長 諏訪 公一  
大会は、「一人三役、みんな協力して汗を流そう！」をモットーに、関係者一丸となって取り組んだ。会場は、交通の利便さを考えて、市の中心にもつてきたため4会場に分かれてしまい、チームの皆さんには移動等に迷惑をかけてしまったことと思う。当協会でもソフト専用球場の建設実現に向けて全力で取り組んでいるのが現状である。球場設営にあたっては、前日より審判員が総出で夜までかかってフェ